



第 1428 回例会報告

平成27年9月17日(木)曇

会長挨拶

会長 御子柴文夫

望月ガバナーとともに 時代に対処しましょう。

先日 15 日の信濃毎日新聞社説で「由らしむべし知らしむべからず」(論語)が引用されていました。

- ・為政者は人民を施政に従わせれば良いのであり、その道理をわからせる必要はない。
- ・政府がやる事に国民に従わせれば良いのであり、やる事の理由をわからせる必要はない。
- ・今の国会審議の政府答弁が国民に理解してもらえる様な丁寧な説明をしていない。

以上のような意味合いで引用されておりました。

それに対し私共のロータリークラブは健全に開かれております。

諏訪湖ロータリークラブは国際ロータリーの一人と認証されて31年目となります。毎年 国際ロータリーの名代としてガバナーをお迎えし、ご講演していただいております。それぞれに素晴らしい方々でしたが 今期の望月ガバナーは更に輪をかけて素晴らしい方と私は思います。望月ガバナーは国際ロータリーを知らしめようと努力され、国際ロータリーの事業を伝えようと熱意をそそがれておられます。そしてロータリー活動の効率化のためにガバナー事務所運営改革に努められておられます。改革せずにおれば仕事が増えず楽

に過ごせるはずですが 次に続く人のために 会員数が減少しても力のある組織にするために頑張っておられます。

ガバナーが私共に意を伝えるには短時間でしたが、お話しを真摯に受け止めて当クラブとしての対応に役立させて頂きます。

さて 異常気象といわれて近年 各地で大災害が発生しております。数十年前に研究者からはオゾンホールの変化による変化と炭酸ガス濃度の上昇により引き起こされる地球温暖化の危機を予測されておりました。京都会議以後、地球規模での取り組みが始まっておりますが 気候の変化により過去にない災害が発生しております。

数日前 茨城県常総市鬼怒川堤防決壊・宮城県大崎市渋井川堤防決壊・並びに各地の崖崩れが発生し 救援を必要とする事態となっております。昨年は広島県の豪雨災害もあり、被害が続出しております。

更に大陸プレート移動に起因する東日本大震災・その後大小の差はありますが箱根山・浅間山・桜島・阿蘇山・口永良部島などの噴火があり東海地震も予測されております。この諏訪の地も断層が沢山あり いつ被災してもおかしくない状況です。すでに起きてしまった岡谷市の土石流被害もありました。

あまり自然災害が発生すると おかしな宗教が台頭してくるかもしれません。被災する前の運の良さや幸せの中で社会貢献できる限り努め、価値あるロータリアンに成長を続けましょう。

ガバナー様、ガバナー補佐さま本日ご出席いただいたことに感謝申し上げます。

出席報告

会員数	40名
出席対象	38名
出席者数	32名
出席率	84.2%
前回修正	86.8%

■ニコニコBOX

8名	10,000円
累計	135,000円
目標額	60万円
達成率	22.5%

■今週のこぼ

ガバナーともどもお世話になります日。

宮坂新バナー補佐

ガバナーよろしくご指導お願いします

近江誠一、小松孝弘、西澤賢二、渡邊芳紀

9月20日は私の誕生日です。誕生日ありがとうございます
尾上正弘



◇幹事報告◇

- 1) 宮坂ガバナー補佐からの依頼によりスマホを使用している会員の調査をします(12名使用でした)
- 2) 総会を24日に開催する予定でしたが都合により10月8日に変更します。
- 3) 来月17日・18日に開催する地区大会の詳細についてはすべての情報がそろい次第会員の皆様へFAXでご連絡致します。
- 4) 岡谷市立神名小学校から神名小学校創立50周年の記念事業として諏訪湖湖ロータリークラブの「鍵盤ハーモニカを使っての海外での教育支援に」賛同し児童会として収集に協力して頂けると、国際奉仕委員会成山委員長に連絡が入りました。9月24日児童総会に出席し過去の経緯今の状況等を説明する機会を頂きましたので、会長・幹事・成山国際奉仕委員長と児童総会に出席してきます。

◇委員会報告◇

【青少年奉仕委員会】

- 1) 本年の下中の職場体験受け入れは、直接会員にお話が行っているようですので個々に対応をお願いいたします
- 2) RYLA への参加をお勧めします。ぜひ委員長まで

【社会奉仕委員会】

10月1日例会は外部会場例会となり、「ガラスの里」で岩波社長の話を聞きます。
9月28日が出欠席の締め切りですが、9月24日の例会の席上でも出欠席を確認します。



本日の3分間スピーチ

本日の3分間スピーチは、近江誠一玄会員でした。「世間は騒然としている」「自分の身を守るために動植物は進化している」私たちも自分の身を守るために何をすべきかと言ったお話をいただきました。



第 1428 回例会

2600 地区ガバナー公式訪問例会

担当 会長・幹事

2600地区望月ガバナーをお迎えし、ご指導を



いただきました。

RI会長の方針伝達に始まり、話の内容は大変わかりやすく、なおかつRCのあるべき姿を端的に指導いただけた素晴らしい講演会でした。

RIの歴史から現在の問題点までを時系列でまとめられたパワーポイントの資料は新会員にもベテラン会員にも納得のいくものです。お配りした資料以外にパワーポイントもいただいておりますので是非今後活用したいものです

ロータリーの黎明期(1905~1923)

- 1905年 ロータリー創設
- 1908年 チェス・ペリー入会→RIの骨格形成
- 1908年 アーサー・シェルドン入会
「経営の科学とは奉仕の科学である」→職業奉仕の原点
「最も奉仕する者最も多く報われる」
- 1911年 フランク・コリンズ「超我の奉仕」
- 1917年 Melvin Jones(メルビン・ジョウズ)
ロータリーを退会“*We Serve*”と叫ぶライオンズを設立
- 1918年 エドガー・アレン→障害児支援への要請→分裂?
- 1923年 「決議23-34 セントルイス宣言」採択

「職業奉仕」はロータリーの根幹
(ロータリーは職業人の集団)

- 個々の力を結集して活動する、社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕は、すべて自己研鑽のためにあり、*I Serve*の精神を磨くためにある。磨き上げた*I Serve*の究極にあるものが職業奉仕です。
- ロータリーにおいてあらゆる奉仕活動は、人間性向上の修練のためにあり、修業の結果を世に問うことが職業奉仕です。

